



6
28
水

沖縄市との交流を 広く発信

市議会6月定例会最終日に、本会議出席者がかりゆしウエアを着用する「かりゆし議会」が行われました。姉妹都市である沖縄市を広く知ってもらおうと開催され、今年で5年目です。

かりゆしウエアは、沖縄の県産品で華やかさに加え、涼しさと着心地の良さが特徴的です。市では、クールビズの環境として職員のかかりゆしウエアの着用を推進しています。



6
29
木

「マチスタヂオ」オープニング セレモニー まちづくりの 拠点施設に

旧町名東町（現本町2丁目）のシェアオフィス「マチスタヂオ」の完成に先立ち、セレモニーが開催されました。東町において企業、地域、大学生などが協働でまちづくりを進めるエリアに、（株）アジリノが整備したもので、設計には国際的に活躍する若手建築家が携わりました。人が集い、活動が生まれる場所としての活用が期待されます。



6
30
金

米沢ファッションベースキャンプ プロジェクト設立会 繊維産地として 新たな価値を

米沢織の洋装関連企業5社が参画し、本市の繊維総合産地としてのブランド価値向上を目指す「米沢ファッションベースキャンププロジェクト」が発足しました。

今後、参画企業の技術やアイデアを集結し、連携して生産に取り組み体制づくりを行うなど、地域内で一貫生産できる全国有数の特色を活かし、事業を展開していきます。

市・長・コ・ラ・ム

「田んぼアート」 ありがとう



平成18年に「田んぼアート」米づくり体験事業推進協議会」が設立され、小野川地区で田んぼアートが始まりました。今年で18年目を迎え、17回目の実施となりますが、樹木の成長により絵柄が遮られることや農家の皆様のご負担などを考慮した結果、残念ながら今年が最後となりました。

田んぼアートの図柄は、本市にゆかりのある歴史上の人物などを題材にしており、平成29年からは公募により決定してきました。初回の題材は小野川温泉ゆかりの「小野小町」で、最も多かった題材は「直江兼統公」で4回実施しました。図柄に使用する稲は主に「はえぬき」で、その他に古代米2種類と観賞用稲2種類の計

5種類での色付けを基本としておりますが、最も多いときには7種類の稲が使用されました。初めて田んぼアートを見たときは、「稲でよく絵を描いたなあ。いろいろな色の稲があるものだ。」と驚いたものでした。

田植えや稲刈りには、三沢東部小学校の児童や先生をはじめ、市内のほか東北や関東、遠くは愛知県からもお越しいただき、未就学児から90代まで幅広い年齢層の方にご参加いただけてきました。多くの皆様を支えられ、18年もの間、続けてこられたことに感謝し、これまで蓄積してきた経験をこれからの取り組みに活かしていきたいと思っております。

米沢市長 中川 稔

「まちの話題」で取り上げてほしい写真や情報をお待ちしています。
 お気軽にお問い合わせください。■問合せ／秘書広報課広報広聴担当 ☎ 22-5111



よねざわ昆虫館 虫フェス 昆虫好きが 三沢に集う

7
2
日

よねざわ昆虫館開館20周年を記念し、三沢コミュニティセンターを会場に「虫フェス」が開催され、約500人が来場しました。

世界のカブトムシやクワガタを実際に触ったり、昆虫食の試食体験や昆虫おりがみ、昆虫グッズの販売コーナーなどが設けられました。参加した子どもたちは、普段できない貴重な体験に目を輝かせている様子でした。

おしよつしな地域おこし協力隊に東京都練馬区出身の岡本啓伸さんが着任しました。岡本さんは都内の大学を卒業後、米沢市内の企業で働きながら地域のイベントなどに参加し、他の協力隊と関わる中で自らも協力隊として活動したいと考えたそうです。政策企画課への配属で、eスポーツやプログラミングを通じてICT教育の推進などに取り組んでいきます。

eスポーツ 普及に期待

7
3
月



7
3
月

災害協定締結式 結束を強め 災害に備える

災害時に、災害ボランティアセンターの設置およびそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するため、本市と米沢市社会福祉協議会が「米沢市災害ボランティアセンター」の設置・運営等に関する協定を締結しました。

本協定は、両者それぞれの役割・協力事項・費用負担などを定め、被災者の生活支援に寄与することを目的とするものです。



今号では、よねざわ昆虫館の虫フェス (P23) の取材をさせていただきましたが、昆虫好きな私にとって、子どもたちに負けないぐらい大興奮の取材となりました(ヘラクレスオオカブトも触ることができました)。いよいよ大好きな季節が本番を迎えます。体調に気を付けながら、短く儂い夏を満喫したいと思います。(赤木)

編集後記

今月のすこやかちゃん



わたなべ はくね ちゃん
 6か月

■すこやかちゃん応募先／



「広報よねざわ」などに関するアンケートにご協力ください

今後の情報発信の参考とするため、皆様のご意見をお聞かせください。

■対象／市内在住の人

■回答方法／二次元コードを読み取り、山形県電子申請から回答



■受付期間／8月10日(木)～31日(木)

※無作為に抽出した市内在住の2,000人を対象に、同じ内容のアンケート調査を郵送します。ご協力をお願いいたします。

※今号の広報クイズはお休みします。

■7月1日号の答え／④くても